３学期終業式（３月１８日（火））　校長挨拶

一年間のまとめとして、「つなぐ・つなげる」という話をします。

１つめは、震災の記憶・教訓を未来へ「つなぐ・つなげる」。
皆さんは、双葉町やいわき市の伝承館を訪問するなどして、震災について考えたこと、感じたこと、調べたことなどを「修学旅行新聞」（２年生）、「わが町新聞」（１年生）にまとめました。
震災の教訓や復興の過程を理解し、自分の言葉で正しい情報を発信できるようになることは、福島県の高校生にとって、非常に意義深いことです。
「３．１１」はもちろん、「４．１１」も忘れてはいけない。
備えあれば憂いなし。日頃の備えが大切である。
人は皆一人では生きていけない。人と人との絆が人を救う。
一人一人の生命は尊いものであり、大事にしなくてはいけない。
震災学習を通していろいろなことを学んだはずです。
震災の記憶を、未来につないでいきましょう。

２つめは、この一年間の頑張りを次の一年間の頑張りへ「つなぐ・つなげる」。
４月から、２年生は３年生になり、１年生は２年生になります。
もう１年前の皆さんではありません。着実に成長しました。自信を持ってください。
１年前はできなかったが、今は少しできるようになった。そう言えることが、１つや２つあるはずです。
できるようになったことは、しっかりできるようにする。
まだできないことは、少しでもできるようにしていく。
特に、２年生は卒業まで残り１年。進路実現に向けて大いに頑張って欲しい。
今年一年間の頑張りを、進級した学年での頑張りにつないでいきましょう。

３つめは、遠野高校の思いをいわき湯本高校へ「つなぐ・つなげる」。
３月１日、遠野高校最後の卒業生を、心を込めて送り出しました。
４月から、２年生はいわき湯本高校の１期生、１年生は２期生になります。
「ネクスト・ジェネレーション！」
遠野高校の思いをしっかり引き継ぎ、いわき湯本高校へつないでいきましょう。
そのためにも、午後の閉校式・お別れ会を、心を込めて行いましょう。

以上が、３つの「つなぐ・つなげる」という話です。

１年間、泣いたり、笑ったり、いろいろあった。よく頑張った。その分、成長した。もう１年前の自分ではない。
４月からも、うれしいことや大変なことなど、いろいろことがあるでしょうが、みんなで頑張っていこう。

「ありがとう」と言える・言ってもらえる人になろう。
「努力する力」を身につけ、「思いやりの気持ち」を持ち、「自立」した人になろう。
輝く未来に向かって、頑張れ、遠野校生！